

ナルヲ以テ加盟組合トノ可能ナル範圍ニ於テノ差別線ニ沿フ  
即時合同ヲ希望スルル旨ノ提唱ヲ為シツ、アルモ協議會側ハ反  
對派ノ真意ヲ見破リ「單一的差別整理ノ問題ハ斗争ヲ通シテ  
始メテ意義アルモノニシテ此ノ意義ヨリスレハ俱樂部排撃同  
盟ニ主權ル諸組合ハ即時日和見的態度ヲ捨テ協議會ニ加盟シ  
共同斗争ノ後ナラハ合同ノ提唱ニ又棄セサルコトナシ  
ト協議會側モ暗々裡ニ自己勢力ノ擴大ヨリ全國勞働ヨリノ脱  
退ヲ煽動シツ、アルモ反對派ハ統一協議會ノ國空化シツ、ア  
ル現状ヲ見極キ統一協議會ニ加盟スルノ意志ナク現在協議會  
加盟ノ各団体ニモ差別整理ノ意志ハナキモノ、如シ若シ反對  
派カ將來勞働俱樂部ニ對スル對立的組織ヲ創立セントスルナ  
ラハ現在ノ統一協議會ニハ據ラス（勿論中心主体ヲ為スモノハ現在  
ノ統一協議會ナルヘキモノ）ニテ何等カノ新ニキ新線統一ノ方法ヲ  
企圖スルモノト見料セラル

### 六 本部派ノ組合並ニ機關ノ因連運動

東京地方ニ在ケル俱樂部排撃同盟、結成ニ依リ内部ハ事實上  
ニ分サレタル形トナリ本部派ハ多大ノ自派勢力ノ喪失ヲ招來  
シ又各機關等ニ支離滅裂トナリタルヲ以テ目下之カ挽回充實  
策ニ奮心中ナルカ東京地方聯合會ノ因連ニ關シテハ岩内善作  
（関東合同執行委員）ヲ中心ニ陣容ヲ整フヘク右所屬組合執  
行委員代表總數會等ヲ開催シ上提議ヲ予定ナリ

### 七 革命的及對派ノ情勢

革及全國委員會ニ在テハ全勞俱樂部排撃同盟ノ結成ヲミ  
ルモ黨（共產黨）及全労、指導下ニ革反ノ組織拡大強化ヲ圖  
ルハ此ノ秋ナリトシテ極力新聞ニユース等ニ在テ宣傳スルト  
共ニ全勞本部ニヤリテハ早晚必然的ニ排撃同盟所屬各組合ノ  
團體除名ヲ為スヘク被除名組合ハ當然新同盟結成スルナラムト  
ノ見透シツ樹テ然ル時ハ之レハ全勞革反ニ獲得ス得ヌトスル